

養消仕第 5 号

常備消防関係車両等
(救助工作車) 購入事業
仕様書

令和 8 年度

養老町

救助工作車仕様書

1 総則

1. この仕様書は、養老町消防本部（以下「消防本部」という。）が購入する救助工作車（以下「車両」という。）の製作に関する仕様について定める。
2. 車両の製作は、この仕様書及び製作承認図等（契約後受注者にて製作すること。）による他、車両の規格等関係法令、基準に適合すること。なお疑義が生じたときは必ず消防本部担当者に質問し、契約後生じた疑義の一切は、全て消防本部の解釈に従うものとする。
3. 車両は、道路運送車両の保安基準に適合し、緊急自動車としての承認が得られること。
4. 受注者は、契約にあたりこの仕様書を了承し、不明な点については、消防本部担当員に質問し十分に熟知した上で契約すること。
5. 受注者は、契約後仕様書詳細について当消防本部担当員と打合せを行い、製作承認図等を消防本部に提出し、承認を得て製作に着手すること。
6. 受注者は、契約後製作にあたりこの仕様書に質疑が生じた場合は、消防本部担当員に連絡の上承認又は指示を受けること。
7. 受注者は、製作にあたりこの仕様書を変更する必要がある場合には、消防本部担当員と打合せの上、変更承認図を提出し、承認を得ること。
8. 受注者は、製作全般にわたり厳重な検査を実施すること。
9. 受注者は、設計、製作、材料及び部品等に関し、特許その他権利上の問題が発生した場合には、その責任を負うこと。
10. 受注者は本車両納入後、特別に装備したウインチ装置、クレーン装置、屋上自動上昇式発電照明灯及び救助資機材等の構造、取扱いについて指導者を消防本部に派遣し、この指導を職員に行うものとする。なお、これに伴う経費は受注者が負担すること。
11. 車両は、消防用車両の安全基準検討委員会が定める「消防用車両の安全基準について」の項を満足し、製造工場については品質管理システム（ISO9001認証取得）を構築し、あらゆる災害救助活動に対応できるよう、キャブオーバー型ダブルキャブ低床式5.5トン級消防専用シャシ（4輪駆動方式）後軸増トン仕様、ウインチ装置、クレーン装置、発電装置、照明装置を装備し、車両ボックス内に積載した救助用資機材等を活用して災害時の人命救助活動に対応するために制作するもので、各部構造装置は堅牢で耐久性に富んだ部材で制作した構造であること。
また、環境負荷の低減に努めるため、解体・リサイクルにおける取組として、一般社団法人日本自動車車体工業会が定める環境基準適合ラベルを取得すること。
12. 車両完成時には、「消防用車両の安全基準について」を満足しているかの検証の為、工場出荷前に下記検査を行なうものとし、検査時の写真及び転覆角度実測証明書を納入時に提出すること。

(1) 完成車重量測定検査

- (2) 完成車転覆角度検査
- (3) 悪路走行試験
- (4) 登坂走行試験

13. 納期は次の通りとする。

- (1) 納 期 : 令和 9 年 3 月 31 日

ただし、シャシの法規改正によるモデルチェンジ等による生産の遅延、社会情勢の影響等により、期限内に納入できない事象が発生した場合は、納期延長について別途協議可とする。

- (2) 納入場所 : 養老郡養老町高田 798 番地 養老町消防本部

- (3) 補足 : 新規検査及び新規登録を受け、当消防本部に納入すること。

なお、納入検査前の事故及び破損について消防本部は一切の責任は負わないものとする。

14. 補足

- (1) 登録緒費用 : 登録に関する一切の経費に関しては本契約に含めるものとする。

但し、自動車重量税、自動車損害賠償責任保険料及びリサイクル料金は除く。

- (2) 非課税緒費用 : 非課税登録諸費用は、登録申請手数料、検査に係る印紙証紙代、ナンバープレート交付手数料とする。

- (3) 登録抹消等 : 受注者は更新する既設車両の永久登録抹消、廃車手続き等を行い、登録事項証明書等それらを証明する書面を消防本部へ提出すること。また、それらに関する一切の経費に関しては本契約に含めるものとする。

なお、自動車重量税及び自動車損害賠償責任保険について、解約の際期間が残っているものに関しては還付申請し、その旨を消防本部担当員へ報告すること。

- (4) 講 習 : 消防用車両の安全基準協会が策定した「消防車両の安全基準について」に基づき、受注者は納入時に納車講習、納入後には安全操作技能講習及び点検整備講習を各専門業者による講習を受注者の責任において実施すること。なお、安全操作技能講習及び点検整備講習についての費用は受注者の負担とし、納入後別途協議の上、日程を決定するものとする。

2 提出書類

1. 受注者は契約後、次の書類を 3 部提出すること。

- (1) 製作工程表

- (2) 製作承認図 (艀装 5 面図、キャブ内艀装図含む)

- (3) 救助資機材配置図
 - (4) 動力伝達装置図
 - (5) ウインチ装置図
 - (6) クレーン装置図
 - (7) 屋上自動上昇式発電照明灯装置図
 - (8) 電気配線図
 - (9) その他当消防本部が提示する書類を提出すること。
2. 受注者は、納入時に次の書類を2部提出すること。
- (1) 取扱説明書
 - ① クレーン装置
 - ② ウインチ装置
 - ③ 屋上自動上昇式発電照明灯
 - ④ 救助資機(器)材
 - (2) 車両取扱説明書(シャシ関係、取付品、付属品を含む) A4ファイル綴込み
 - (3) 工程写真(製作中各工程(シャシ、組立中、塗装後、転覆角度試験、重量実測試験、悪路走行試験、登坂試験) CD-R電子媒体可)
 - (4) 各種保証書
 - (5) 改造自動車審査結果通知書(写し)
 - (6) 改造自動車計算書
 - (7) その他当消防本部が指示する書類を提出すること。

3 概要

本車両は、火災を始め、あらゆる災害、並びに救助活動に必要な装備、各種救助資機材及び収納装置を設け、災害時における諸活動を迅速に行えるものとする。また、構造は堅牢で耐久性に富むものとする。なお、シャシ、ウインチ、クレーン、照明装置についてはメンテナンスを考慮し、国産メーカー品とする。また、この仕様書における装備、仕様、資機(器)材等は、最新型で新品を使用することとして、当消防本部が承認した同等品以上は可とする。納入時全ての資機(器)材等は使用可能状態とし、燃料、電池等FULLとする。

4 シャシの仕様及び装備品

- 1. 本車両に用いるシャシは、キャブオーバー型ダブルシート5.5t級増トン仕様低床4輪駆動の消防用シャシとすること。
- 2. この仕様書において指定したもの以外の装備については、消防用シャシとしてメーカーが公表した標準取付品が装備されていなければならない。
- 3. 主要諸元

- | | |
|---------------------------------|--|
| (1) キャブオーバー型ダブルシート5.5t級増トン仕様シャシ | |
| (2) エンジン出力 | 220PS以上 |
| (3) 駆動方式 | 4輪駆動 |
| (4) トランスミッション | マニュアルトランスミッション |
| (5) 全長 | 8,000mm程度 |
| (6) 全高 | 3,300mm程度 |
| (7) ホイールベース | 3,800mm程度 |
| (8) ステアリング | パワーステアリング |
| (9) オイルパンヒーター | 10mコード付、マグネット式(バッテリー充電兼用) |
| (10) バッテリー充電装置 | |
| (11) エアコン | 純正品 |
| (12) キャブチルト装置 | 電動油圧式チルト装置(緊急時手動可) |
| (13) タイヤ | スタッドレスタイヤ(アルミホイール付き)
スペアタイヤ(前輪、後輪 各1) |
| (14) 安全装置 | ABS装置、エアバック |
| (15) ブレーキロック装置 | |
| (16) 乗車人数 | 6人(前席2名、後席4名) |
| (17) 車両総重量 | 12t以下 |
| (18) リーフスプリング | 強化スプリング |
| (19) 各サスペンション | 強化型 |
| (20) ブレーキ方式 | 空気式 |
| (21) 方向指示器 | 左右折時警報機器(電子サイレンアンプ音声合成) |
4. 特殊装置の動力伝達取り出し方式
フロントウインチ装置(油圧式5t以上)、クレーン装置(油圧式2.9t以上)、屋上自動上昇式発電照明灯はセンターPTO方式で駆動させる。
5. 装備取付品
- | | |
|--------------|--------------------|
| (1) バッテリー | 145F51×2以上×2個 |
| (2) オルタネーター | 24V-100A以上 |
| (3) 後部警報機 | 音声アラーム式 OFFスイッチ付 |
| (4) バックランプ | 左右各1個 |
| (5) 後部側面車幅灯 | 左右各1個 |
| (6) メインスイッチ | LED灯付 運転席計器類下部に設ける |
| (7) サイドバイザー | 全ドア上部(ステンレス) |
| (8) ナンバーフレーム | 前後(ステンレス) |
| (9) サンバイザー | 運転席・助手席 |
| (10) 後部大型反射板 | 規格品 (取り付けるか別途協議) |

- (11) 燃料タンク 容量100L以上
- (12) ヘッドランプ LED (シャシ純正)
- (13) フォグランプ ヘッドライト一体型 (シャシ純正)
- (14) デイライト ヘッドランプ内蔵 (シャシ純正)
- (15) ラジオ AM・FM機能
- (16) パワーウインドウ 全席
- (17) 集中ドアロック装置
- (18) イモビライザー
- (19) バックアイカメラ (シャシ適合品)
- (20) ドライブレコーダー (シャシ適合品)
- (21) ETC車載器
- (22) 車両状態警告表示 アドバンスモニタ (未収納等確認)
- (23) HDDナビゲーションシステム
- (24) 左右後方視界ミラー リモコン・ヒーター付、助手席電動格納式
- (25) 左右前輪確認ミラー ヒーター付
- (26) 左アンダーミラー
- (27) 助手席用後方視界ミラー
- (28) 泥除け垂れゴム 全輪

6. 付属品

- (1) フロアマット 一式
- (2) 標準工具 一式
- (3) 車輪止め (大型ハイプラ製) 2組 (4個)
- (4) タイヤチェーン (シングルワンタッチ式) 一式 (2組)
- (5) ブースターケーブル 一式 (10m程度)

5 キャブの艤装仕様

1. キャブ屋根に収納ボックス積載用スペースとして、動荷重150kg及び静荷重300kg程度の積載能力を有するアルミ鋼板張りの積載可能な台を設けること。また、キャブブルーフは天井作業台一体型CFRP製 (Red Armor) とし後部室内は隊員が起立状態で空気呼吸器に脱着や着替えができるスペースを確保するハイルーフタイプとすること。なお、転覆角度及び車両重量を考慮し、軽量化と耐久性を追求したオートクレーブ製法によるインナーフレームレス構造とすること。
2. 隊員のキャビン内での居住性、活動性を考慮し、キャブ左右側面にキャブ一体型のキャブバックパネルを垂直に立ち上げ加工し、後部座席を通常位置より後ろに移動させ後部座席前方の足元のスペースを400mm程度確保すること。また起立状態でも呼吸器の脱着などが容易に可能なように床面から天井まで1,800mm以上のスペースを確保すること。

と。

3. キャブ左右上部側面にLED式標識灯 (MYSW-L320M-W)、上部に作業灯 (MYSW-L600H-W) を埋め込み式にて設けること。
4. ハイルフ上部には、8箇所ステンレス製D環 (以下D環については、最大限の強度を有するものとし強度表示をすること。)を取付け、雨水の浸入防止処理を施すこと。また、ボックスを積載した場合に固定できる器具を必要数設けること。
5. キャブの構造は、キャブオーバー型ダブルシートとし、エンジン部分の点検手入を容易にするため、電動式チルト装置を設けること。また、キャブのチルト部は必要により補強し、落下防止用の支え棒等を設け、エンジン部分等の点検手入に支障とならないようにエンジン室照明灯を設けること。
6. キャブ内には小型の救助用資機材等が収納できるように前部オーバーヘッド部左右には分割式のコンソール、中央上部にはルーフセンターコンソール、前部オーバーヘッドと中央部ルーフセンターコンソール間には中間棚、後部にはリアルーフコンソールを取付け、ゴムバンド等で飛び出し防止を施すこと。
7. キャブのドアは4ドア式のキーレスエントリー付集中ドアロック式とし、各ドア部にボディカラーと同色の乗降用手摺棒を取付けること。
8. 各ドアガラス上部にステンレス製サイドバイザーを取付けること。
9. 各ドアのフェンダー部及び蹴り込み部分には、アルミ化粧板を張ること。
10. 後方視界ミラーは大型で、右 (リモコンミラー・ヒーター付)、左 (リモコンミラー・ヒーター付電動格納式) とし、助手席用後方視界ミラーを取付ける。
11. 左右に前輪確認ミラーをヒーター付で取付ける。
12. アンダーミラーは助手席に取付ける。
13. ミラーカバーは黒色、フロントグリルはボディカラーと黒色とする。
14. フロントガラス上部及び下部に黒色の取手を設けること。
15. ヘッドライトの左右にデイライト (白色内蔵 シャシ純正) を設けること。
16. 消防章をフロントグリル中央部に強固に直付けすること。
17. 路肩灯を車体下部の左右にスモール灯連動にて点灯するように取り付けること。
18. オイルパンヒーターの電源ソケットは、マグネット式とし、キャビン右側ステップ付近に設けること。
19. バッテリー充電装置の電源ソケットは、オイルパンヒーターと兼用とすること。
20. キャビン内の座席は次のとおりとすること。(詳細は別途協議)
 - (1) 座席は前向きとし、前部2名、後部4名掛けベンチシートとすること。又、座席カバーは超防汚シートカバーを有する物を使用すること。(飛鳥車体制シートカバー)
 - (2) 後席のシートはベンチシート跳ね上げ式とし、クイックホルダーの開放レバーを座席右に取り付ける。また、背もたれカットシートは前倒れ式とし、後部座席後ろのボックス内及び上面はマット張りすること。

- (3) 後席シート下部に小物器材の収納できるボックス（囲い）を設けること。左右に扉を設けること。
 - (4) 前席の中央には集中コンソールボックスを設けること。
 - (5) 助手席は空気呼吸器内蔵型レスキューシートを設けること。
21. ダッシュボードの運転に支障がない場所に位置に、取外し可能なカーナビションを取付けること。なお、走行中でも全ての操作が可能であること。
 22. 車両運行時の安全を確保するため、キャブ内運転席上部オーバーヘッド部に車両状態警告表示を行う液晶モニタを取付けること。モニタは3.5インチTFTカラー液晶ディスプレイとし、シャッター、ステップ、大型扉の開閉状況、クレーン、大型照明装置、積載梯子昇降装置の収納状況、大型照明装置用発電機の使用状況が表示できること。
 23. メインスイッチ及びP T Oスイッチは操作しやすいところに設けること。
(シャシ純正)
 24. キャビン内の後部窓には保護枠を設けること。
 25. キャビン内前席天井部に、埋め込み式小型LED室内灯(MYSI-L9-W)を2箇所設け、後部席天井部に埋め込み式大型LED室内灯(MYSI-L28-W)を2箇所設けること。
 26. 運転席、助手席及び後席の左右に各席で点灯消灯ができるフレキシブルマップランプ(LEDキャッチホルダー付)を取付けること。(計4個)
 27. キャビン内の天井は次のとおりとすること。
 - (1) キャビン内の天井には前部、中央部及び後部に収納棚を設け、効果的なスペースがあれば前部と中央部の収納棚を連結すること。天井中央部及び後部の収納棚の底面にはパンチングメタル等を設けS字フック10個を取り付け、装備品及び面体を吊り下げられる構造とすること。
 - (2) 後部収納棚左右両端付近に携帯無線機の充電等のための100Vコンセント(100W)を各1箇所設けること。(計2個)
 - (3) 各収納棚には折返し等で、収納物が落下しない措置を講じること。
 28. コンソールボックス後方に地図等を入れるパンチングメタルボックスを設けること。
 29. 後席前方にステンレス製の手摺棒を設け、取り外し可能なS字フック10個を取付けること。
 30. キャビン内天井等の内張りは、電装品及び各配線の取付箇所が点検できる構造とすること。
 31. 各装備品電気配線及び無線電話装置の各配線はキャビンの内張り内に通し、キャビン本体を貫通する場合は、雨水等の漏れを防止する構造とすること。
 32. 各装置の電装用スイッチパネルは、前席中央部に設けたコンソールボックスに10連スイッチを設けること。
 33. フロントウインチ取付け部は容易に上方向に開閉できるアルミ縞板製のカバー(照明付)を設けること。

34. キャブの左右両側下段ステップ付近に車輪止め枠を設けワンタッチ式(ストップロック式)で固定できること。
35. キャブ後方両側の下部はワイドステップとし、右側は小物入れとし、左側はバッテリーを取り付けすること。なお、バッテリーはアルミ縞板製カバーを設け、引き出し方式はレール式とすること。
36. ナンバープレートはステンレス製枠を取付け埋め込み式等とすること。
37. キャブ前面左右にLED散光式赤色警光灯(MRA-B310)をハイルーフキャブと一体型とすること。スピーカーはキャビン内部の無線通話の妨げにならず、前方音量を確保しながら車内側への音量を削減する前後一体型のアクティブ制御スピーカー(MRA-SP-30R)をキャビン前方中央にキャビン一体型にて収納すること。また、モーターサイレン(大阪サイレン製 6SA)1個をキャビン前方中央部にキャビン一体型として取付すること。
38. キャビン昇降用ステップはキャブ一体型のワイドステップ・グレーチングタイプとし、埋め込み式LED足元灯を設けること。

6 車体等の艤装仕様

1. 車体の艤装に関する一般事項は次のとおりとする。
 - (1) 車体の構造は鋼板製とし、堅牢で耐久性及び走行による振動等に十分に耐えられる構造とし、全般にわたり防錆性、防水性及び耐水性を十分考慮して工作すること。
 - (2) 車体の完成寸法は次のとおりとする。

全 長	8, 0 0 0 mm程度
全 幅	2, 5 0 0 mm程度
全 高	3, 3 0 0 mm程度
 - (3) 車体にはウインチ装備、クレーン装備、屋上自動上昇式発電照明灯を装備すること。
 - (4) 車体の両側面はキャビンと一体感を有するように車体側面上部にせり上げ等を施し、左右はアルミ合板製2枚シャッター及び扉とし内部には各資機材の収納装置を設け、構造は堅牢で耐久性に富んでいること。また、車体後部については化粧板を全面に取りつけること。(別途協議)
 - (5) 車体内部は中央付近で左右に分割した堅牢な金属製(ステンレス鋼、アルミパンチングボート等)のフレームや仕切り板で構成し、資機材に合わせて積載ボックスや展開式の棚等を用いて製作施工すること。なお、金属製のフレームに設ける棚等は、資機材に合わせてサイズ変更(区画変更)できる構造とすること。
 - (6) 総合的な重量軽減を図り、車体重量の左右前後のバランスを考慮し製作施工すること。
 - (7) シャシフレームに艤装上の構造物及び枠組み取付け台等を取付ける場合は、原則として弛緩しない方法でボルト緩めること。

- (8) 車体の骨組みや鋼板等の切断面には面取りを施し、飛出したボルト等は短くする等の危害防止措置を行なうこと。
 - (9) 車体の点検箇所は工具類を使用するためのスペースを確保するとともに、必要な箇所には点検口又は点検扉を設けること。
 - (10) 車体に設けるステップ、ブラケット、手摺棒等の取付け部は補強して堅固に取付けること。
 - (11) 後部タイヤハウス左右に各2個（計4個）、車体後部左右に各1個（計2個）、シャッター上部付近（外部）の左右に3個（計6個）に許容荷重を明記した確保用D環等を設けること。なお、車体損傷防止のためD環取付け部分の車体にはステンレス板等を取付け保護すること。
 - (12) バンパー前面下部にステンレス製シャックル（3 t以上）を左右各1個（計2個）取付けること。
 - (13) 前部バンパーにはフロントスポイラーを取付けること。なお、シャックル部分については取除くこと。
 - (14) 左右リヤフェンダーの内側に、後輪付近を有効に照らすLED照明灯を設置し、点灯は作業灯と連動とする。
2. 積載品格納室等の構造は次のとおりとする。
- (1) 車体の両側面の手動式バーシャッターの開閉状態を確認できるランプをキャビン内コンソールボックスに取付けること。なお、シャッターはひずみ等がでない防水構造とし、各扉、シャッターは施錠ができる構造としシャッターレール部にはLED灯を組み込み、ボックス内を照射できるように設けること。
 - (2) 車体上部せり上げ部分には車体周囲に照射できる作業灯（LED長型MYSWシリーズ）を、左右に各2個（計4個）設けること。なお、スイッチはコンソールボックス及び車体内の左右の設けること。
 - (3) 資機材の収納部には、内部を有効に照射できるLEDの室内灯を左右に必要数設け、そのスイッチはシャッター及び扉の開閉に連動し、キャビン内のコンソールボックスに取付けた車内灯スイッチにおいても操作できること。なお、巻上げたシャッターに資機材等が接触することがないようにパンチングボード等でシャッターを保護すること。
 - (4) 救助資機材の収納方法は次のとおりとする。
 - ① 可能な限り同一用途にまとめること。
 - ② すべての収納ボックス及び落下防止扉には収容物が記入できるネームプレートを設けること。
 - ③ 重量物は可能な限り取り出し易い下部とすること。
 - ④ 資機材はローラー、引出しレール、展開式収納棚等を用い資機材を容易に車外へ引出せる構造とし、高所の積載ボックス等にあつては、必要により斜め引出しレ

ール等を用いること。なお、積載ボックスには搬送容易にするためにボックスの一部を切り取り、取手を設けると共に引出し用の取手を取り付けること。また、ボックスの収納棚には出入れを容易にするためのローラーを取付けること。なお、ボックスが落下しないように落下防止用の間口にロック機能を設けること。

- ⑤ 資機材の固定は現物に見合った固定装置を取付けるかマジックベルト等を使用するなど、ワンタッチで容易に脱着できる構造とすること。また、扉付きの棚には間口に落下防止用のロック機能を設けること。
- (5) 資機材の収納ボックスにはゴム板等を敷いて、資機材の保護を図るとともに防水パッキン、水抜き穴等の必要な処置を講ずること。
- (6) カラビナ、滑車等は展開式収納棚のパンチングボードにS字フックで吊下げる構造とし、側面はパンチングボードを張る等、出入れに支障がない構造とし、S字フック大小各25個を設ける。
- (7) ロープは種別毎にボックスで区分けし、容易に出入れができる構造とすること。
- (8) 掛け矢、つるはし、バール、斧、鋸等の携帯救助器具は、シャッター用支柱のデッドスペースを利用し取付け、車体右側前部の展開式収納棚の開閉により取出し可能な構造とすること。
- (9) 車体上面への昇降用ハシゴを車体前部の右側に車体収納一体型折りたたみ式ハシゴを設けること。
- (10) 車両後部から車体上部へ容易に昇降できるよう、昇降用の展開式ステップ等を設け、可能な個所はLED灯付とすること。ボディ後面に、天井への昇降用のアーチステップをクレーンの左右にそれぞれ設けること。また、アーチステップには一体となった手摺を設けるとともに、最上段は可能な限り広く踏み面を確保し、部分的にグレーチング仕様とすること。
- (11) 車体の天井はアルミ縞板とし、縞板はキャブと車体との隙間を可能な限り少なくすること。
- (12) 車体上面左側にチタン製三連梯子及びカギ付き梯子を重ねて積載し、この積降ろしは電動昇降装置（SSA-II）により容易に降ろせること。
- (13) 車体上面の積載庫は、右側にアルミ縞板で救助用資機材が収納できる大型収納ボックスを可能な限りの大容量で設けること。また、上蓋の裏側にはバスケット担架が固定できるベルトを設けること。（詳細別途協議）アルミ縞板でクレーンのブーム下に一部落とし込んだアルミ縞板製ボックスを設けること。また、上面の空きスペースには可能な限り積載庫を設けること。
- (14) 車体両側側面の下部は収納ボックスを設け、扉はチェーンレスとし、内側はアルミ縞板を張りステップとして兼用できるものとする。全ての扉は閉扉時のロック装置（内蔵型）を設け、開閉と同時に点灯・消灯機能を有する照明灯（LED型）を庫内に設けること。

- (15) 車体両側面のリヤフェンダーは展開式の扉とし、タイヤの切欠き部分に補助ステップを設けること。
- (16) 全ての展開式ステップは同時に展開した際に張出面及び床面が水平となる構造とし、各ステップにはアルミ縞板を張り、三面の枠には開閉と同時に点灯・消灯機能を有するLEDを設けること。
- (17) 車体の左右に、車外無線送受話器を車体一体型（埋め込み式ボックス、扉付き等）で設け、防水対策を施し内部には照明を設け配線し受話器を取り付け、付近に外部スピーカーを設け、車内外切り替えスイッチをキャビン内に設けること。なお、左右のボックス内には車外広報用のマイクジャック（マイク含む）を取り付けること。
- (18) 車体の支障のない位置に20型自動車消火器を1本取付けること。
- (19) 車体後部の左上方シャッターデッドスペースに長尺救助資機材等が積載できる積載庫を設け、ロック装置付き扉を設け、内部は資機材の出入れに便利なローラー付の引出し式とすること。また、扉の開閉と同時に点灯・消灯機能を有するLED照明灯を庫内に設けること。
- (20) 救助用資機材等は、積載スペースと重量を考慮し可能な限り積載するものとし、積載不能な資機材については別途協議すること。
- (21) 左シャッターボックス内前方に、アルミ製大型回転式収納棚を設け、高さ調整が可能な棚などを取付けること。また、本展開収納棚は必要に応じ、上下段に分離し、それぞれが個別に展開が可能なこととし、それぞれ40度、90度、110度程度の展開状態で保持が可能なこと。効率良く資機材を配置するため、展開棚収納部はフロアレス構造とし、棚展開後、シャッターボックス内に入って更に奥の資機材にアプローチできるようにすること。なお、シャッターボックス下方のエプロンボックスは全てブラインドピラー構造とすること。
- (22) 夜間作業時に後部化粧板面にLED作業灯（大阪サイレン製LIA-300）を2個取付ける。各点灯スイッチは車体に必要数を設け、キャブ内のメインスイッチを経由すること。
- (23) 車体両側面の上部せり上げ部付近及び後部に、クレーン、ウインチ、照明装置の作動状況が確認できる表示灯（クレーン：青、ウインチ：緑、照明装置：黄）を設けること。また、各表示灯にはそれぞれの名称を貼付すること。
- (24) 資機材はアルミケースに収納し、脱着が容易にでき且つ確実に固定できるものとする。また、必要に応じて引出し装置を設けるものとする。（別途協議）
- (25) 携帯用救助器具は、1箇所にとまとめて容易に取出せる構造とすること。
- (26) 車両後部にチルホール収納スペースを設け、チルホールを容易に設定できる構造とすること。

3. 車両は緊急車として走行し災害時の救助活動を行なうため、次の警報警光装置等を取付けること。
 - (1) 警報装置は自動車固有のものその他、音声合成装置付き電子サイレンアンプを取付けること。メッセージ内容は別途協議。
 - (2) 警光装置類は全て同一スイッチとし次のとおりとすること。
 - ① 警光灯はハイルーフキャブ埋込み型LED散光式とすること。
 - ② 車体両側せり上げ部分にLED式赤色点滅灯（大阪サイレン社製LFA-200または同等品）左右各4個を取付けること。
 - ③ 車体後部にLED式赤色点滅灯（大阪サイレン社製 LFA-300）2個を取付けること。
 - (3) 後退警報は、音声アラーム式（OFFスイッチ付）とすること。
 - (4) ヒューズボックスは、キャビン内に設け、点検容易な構造とし、電装品ごとに名称・アンペアを記入すること。
 - (5) シャッター開閉の確認表示などのランプ類は、日中でも点灯が容易に確認できる照度を有すること。
4. ウインチ装置は、次のとおりとする。
 - (1) ウインチ装置は最大張引力が5.5 t以上とし、車体振動、ねじれ等に十分耐える強度を有する構造であること。
 - (2) ウインチ操作部付近にLED照明を設けること。
 - (3) ウインチは、乱巻き、キンク等が発生しない構造とすること。
 - (4) 安全装置として、過負荷防止装置及び逆転防止装置を取付けること。
 - (5) 有線リモコンスイッチの接続部は、防水式とすること。
 - (6) ワイヤーの先端には、シャックルを介して5 t用のアイフック（安全チャック付）を取付けること。
 - (7) ウインチドラムのクラッチが断の状態ではワイヤーが手動で引き出せること。
 - (8) ウインチ付近及び有線リモコンには、自照式デジタル能力表示装置を設けること。
なお、夜間においても視認性に問題のない構造であること。
 - (9) フロントウインチ装置の仕様は次のとおりとする。

① メーカー	大橋機産株式会社
② 型式	MCW550RR T3-S
③ 駆動方法	油圧
④ 最大張引力	5.5 t以上
⑤ ワイヤー直径	φ14 mm程度
⑥ ワイヤー長	30 m以上（先端5 tフック、安全チャック付）
⑦ オイルタンク	32ℓ（クレーン併用）
⑧ 取出口	四方ローラー付

- ⑨ 操作方法 有線・無線リモコン
- ⑩ フック フロントバンパー上面にステンレス製ピンドルフック
(使用荷重3 t以上)を2個設けること。
- ⑪ ウインチ附属品 玉掛ワイヤーロープ 1 2 mm×5 m 2本
1 2 mm×3 m 2本
滑車 5 t×1個
シャックル 3 t×2個
- ⑫ 有線リモコン装置 10 m程度の延長コード 1本
- ⑬ ウインチはフロントバンパー中央部に設けること。なお、張出したバンパーは強靱で上部にはアルミ縞板を設けること。
- ⑭ フロントバンパー下部にステンレス製の外止め付牽引用フック(シャックル3 t以上)を2個取付けること。
- ⑮ フロントバンパーにシャックル(留め金具付)を2個設けること。
- ⑯ ウインチ用のカバーは上部開閉式としアルミ縞板等で設けること。
- ⑰ ウインチの操作は有線・無線リモコンで行なえるものとし、緊急時には手動操作が可能な構造であること。なお、無線式リモコンはクレーン及び照明装置と兼用型であること。

5. クレーン装置は、次のとおりとする。

- (1) 車体後部に最大吊上能力2.9 t以上のクレーン装置を架装し、シャシフレームを必要に応じて補強する。駆動方式はフルパワーPTOより油圧ポンプを作動させる構造とすること。
- (2) 操作レバーを覆い隠す保護パネルを設けること。
- (3) 操作部付近(左右)の見易い位置に水準器を設けること。
- (4) 操作部付近見易い位置に荷重計を設けること。
- (5) クレーンのブームの先端にLED照明灯を取り付けること。また、先端付近に環を取り付けること。
- (6) クレーン及びアウトリガーの未格納警報装置を設けること。
- (7) アウトリガーの両側面に保護用ドアを設けること。
- (8) アウトリガーの上部にLED黄色灯(ステンレス保護カバー付)を設けること。
- (9) アウトリガーに黄色い反射テープを貼付けること。
- (10) アウトリガーのジャッキ用敷板を左右操作部付近に各1枚取付け、2枚を付属すること。
- (11) アウトリガーには飛出し防止ロック機能を設け、ジャッキは無線リモコンにより油圧で伸縮すること。
- (12) キャビン内に、ブーム未収納時の警報及び確認用ランプを設けること。(サイドブレーキ連動)

- (13) ブーム伸縮操作に連動し、フックの位置が自動的に水平移動及び平行移動ができる機能と、クレーン操作開始及び終了時に自動的にフックを展開・格納できる旋回自動車停止付自動格納装置が装備されていること。
- (14) オイルタンクの作動油交換を容易にするため排出バルブを設け、ドレンパイプを車体下部まで引くこと。
- (15) 無線リモコン装置は過負荷制限とブーム高さ制限の機能を有し、フック吊下げ実荷重が常時表示される液晶デジタルリモコン装置とする。
- (16) 無線リモコン装置はフロントウインチ及び照明装置兼用とし、一つのリモコンで各種操作が行なえること。また、本ラジコンの液晶画面にてフロントウインチのテンション(張力・荷重)を表示可能なこと。
- (17) 乱巻き防止として、ワイヤーロープ押さえ装置を設けること。
- (18) 手動操作ロッドはステンレス製とする。
- (19) クレーン主要諸元及び性能は次のとおりとする。

① 型式	株式会社タダノ ZX303HRENB
② 最大ブーム長	7.5 m以上3段油圧伸縮式
③ 最大地上揚程	9.0 m程度
④ ワイヤー長	51 m程度
⑤ 操作方法	無線リモコン及び手動式(車体左右)

- (20) クレーン装置の付属品は次のとおりとする。

① 繊維スリング	3 t 5 m・7 m 各2本
② シャックル	3 t 2個
③ 滑車	3 t 1個

6. 自動上昇式発電照明装置は、次のとおりとする。

- (1) 車両に装備されるウインチ装置、クレーン装置及び屋上自動上昇式発電照明灯等を使用する際に最適なエンジン回転数を自動的に選択するスロットル自動制御装置を設けること。
 - (2) クレーン及びウインチを同時に操作しても照明及び電源供給が支障なく行なえること。
 - (3) 操作は有線・無線リモコンとし無線リモコンはクレーン及びフロントウインチも操作できるものとする。
 - (4) 発電装置の主要諸元及び性能は次のとおりとする。
- | | |
|----------|----------------------------------|
| ① 定格出力 | 13 KVA以上 |
| ② 電圧 | 単相100V・三相200V |
| ③ 電流 | 34 A以上 |
| ④ 周波数/回転 | 50~60 Hz / 1, 500 rpm~1, 800 rpm |
| ⑤ 駆動方式 | フルパワーPTO |

- ⑥ 型式 株式会社多摩川精機販売 GHD13KVA
- (5) 照明装置は、軽量かつ高剛性なカーボン製とし、錆や経年劣化に強い構造とすること。
- (6) 照明装置は車体最前部の中央付近に取り付け、収納時にクレーン上面より突出せず、収納ボックス付近の作業等に支障とならない構造とすること。
- (7) 油圧による伸縮方式で、旋回及び上下の俯仰ができる構造とし、有線・無線リモコン操作により遠隔操作ができること。緊急時には手動操作も可能とすること。
- (8) 照明装置の主要諸元及び性能は次のとおりとする。
- ① 照明 LED全光束：187,050ルーメン×2灯（メタハラ4000W相当）
- ② 電源 200V
- ③ 周辺照明 高感度LED 15W×2灯
- ④ 型式 株式会社多摩川精機販売 SQE4000
- (9) 伸縮装置の主要諸元及び性能は次のとおりとする。
- ① 伸縮高 地上高7m程度
- ② 収納高 地上高3.2m程度
- ③ 旋回角 左右各180度
- ④ 俯仰角 エンドレス360度
- ⑤ その他 自動上昇装置・自動収納装置・LED識別灯
上方照射機能・上面障害検地センサー・減光機能
- ⑥ 型式 株式会社多摩川精機販売 YT2406DMS
- (10) 車体の左右各1箇所コンセント100V15Aを取付け、アンペア表示をすること。また、コンセントブレーカーを設けること。
- (11) 発電機の回転が異常上昇した場合は自動的に停止する保護装置（発電機非常停止装置）を設けること。
7. 積載資機材及び収納位置については、次のとおりとする。
- (1) 車両に搭載する積載資機材は別表のとおりとする。なお、収納位置及び方法にあつては、消防本部の指定に従うこと。（別途協議）
※更新対象車両の廃棄資機材等は、無償で引き取り、処分すること。（別途協議）
- (2) 車体の両側面に設ける各資機材収納部は、アルミ製2面シャッター型とし、シャッター開閉ハンドルはバーハンドル型とする。
- (3) 車体の最前部左右には大型の展開式収納棚を設け救助資機材等が収納できるものとし、収納棚を展開することで収納庫内部まで入ることが可能で、資機材が容易に取出せる構造とすること。
- (4) 空気呼吸器用予備ボンベ5本以上が収納でき、飛出し防止金具を取付けること。
8. 車載型無線装置及び車両運用端末装置
- (1) 既設車両の消防無線、アンテナ、車両動態管理システム端末装置を下記の業者に

より、操作しやすい位置に設置すること。

- (2) 各詳細については、消防本部及び消防本部の指示する下記業者と連携を図り、十分協議のうえ、実施すること。

会社名：中央電子光学株式会社 情報通信システム二部

住 所：岐阜市六条北4丁目10番7号 電話（058）271-8113

7 塗装および文字記入等

1. 塗装色等は次のとおりとする。
 - (1) 車両は朱色とし、塗装VOC（指発生有機溶剤）削減、環境負荷物質（鉛等）排除など環境に配慮した塗装を使用すること。
 - (2) アルミシャッター部は赤塗装とすること。
 - (3) アルミ縞板使用部分は、塗装しない。
 - (4) 車体のボックス内は、シルバー系塗色で統一すること。
 - (5) 車両下回りは塩害ガード（ブラック）を施し、黒色塗装とすること。

8 その他

1. 艀装中間検査は消防本部担当員が出向し、受注者立会いのもと実施する。また、検査の日時は事前に消防本部担当員と協議し、書面にて通知すること。
2. 完成検査は、消防本部担当員の立会いのもと行うものとし、全ての艀装、塗装及び装備が完了した時点とし、納入期限までに補修又は調整ができる余裕日数をもつこと。
3. 完成検査を受けようとする時は、当該検査の7日前までに書面により検査の依頼をすること。
4. 保障期間については、完成車納入後1年又はメーカー等で定める期間とし、艀装及び設計等に起因する故障等の不具合が生じた場合には、受注者の責任において無償により修復等を行うこと。
5. 完成車は各部の清掃、グリスアップなど点検整備を十分に行うとともに取扱い説明を行うものとする。
6. 車両寸法表示板を作成し、キャビン内の適所に取り付けること。また、適所に車両の寸法を明記すること。詳細については、消防本部の指定のとおりとする。（別途協議）

(例)

車両名称	救助工作車 (養老町〇〇)	
登録番号	〇〇〇〇〇〇	
全 高		m
全 長		m
全 幅		m
定 員		名
車両重量		k g
タイヤサイズ		
対空表示	〇〇〇〇	
配備年月	令和〇〇年〇〇月	

(縦10cm×横12cm程度 プラスチック板)

7. キャブ左右後部ドアに向かって左から右に「養老町消防本部」と記入すること。
書体及び文字色については、別途協議。
8. キャブ運転席ドアに道路交通法に基づく車両種別を記入すること。
書体及び文字色については、別途協議。
9. 車両左右のシャッター及び後部シャッターのデザインは別途協議するもの。
左右及び後面に再帰性に富んだ反射材ラインを入れること。
10. 対空表示はキャブ天井面に白文字丸ゴシックで「〇〇〇」と記入する。
詳細は別途協議する。
11. 妨害又は不当要求に対する通報義務
 - (1) 受注者は契約の履行に当たって暴力団又は暴力団員等から事実関係及び社会通念等に照らして合理的な理由が認められない不当若しくは違法な要求又は契約の適正な履行を妨げる妨害を受けたときは、市長及び各務原警察署長へ通報しなければならない。なお、不当な理由がなく通報がない場合は入札参加資格停止の措置を行うことがある。
 - (2) 受注者は、暴力団及び暴力団員等による不当介入を受けたことにより、履行期間内に業務を完了することができないときは、契約書に基づき協議を行うものとする。

取付品及び附属品

NO.	品名	備考	数量
1	ウインチ装置(前) 油圧	大橋機産 MCW550RRT3S	1
2	クレーン装置	タダノ ZX303HRENBA	1
3	屋上発電照明装置	多摩川精機 SQE4000	1
4	標識灯	MYSW-L320M-W 黄色 LED式	1
5	消火器	20型	1
6	赤色警光灯	大阪サイレン製MRA-B310	1
7	補助赤色警光灯	フロントパネル LFA100	2
		車体左右側面 LFA300	4
		車体後面 LFA200	2
8	電子サイレン	大阪サイレン製 TSK-D152	1
9	電子サイレンスピーカー	大阪サイレン製アクティブ制御スピーカーMRA-SP-30R	1
10	後退警報器		1
11	車輪止	取付含む	2
12	タイヤチェーン		1
13	車外無線送話機取出口		2
14	GPSナビゲーションシステム	ポータブル式	1
15	電動サイレン	6SA	1
16	キャブチルト装置	電動	1
17	オイルパンヒータ		1
18	スタッドレスタイヤ	アルミホイール	1
19	反射材		1
20	車両状態警告表示	アドバンスモニタ	1
21	バックアイモニタ・カメラ	シャシ適合品	1
22	ドライブレコーダ	シャシ適合品	1

取付品及び附属品

NO.	品名	備考	数量
23	ETC車載器		1
24	サンバイザー	運転席、助手席	1
25	サイドバイザー	キャビン各ドア上部 樹脂製	1
26	スペアタイヤ	前輪、後輪 各1本	1
27	エンジン回転計	シャシ標準	1
28	油温計	シャシ標準	1
29	電圧計	シャシ標準	1
30	フロアマット	シャシ標準	1
31	マッドガード		4
32	予備ヒューズ		1
33	車両標準工具	シャシ標準	1
34	消防マーク		1
35	前照灯	シャシ標準	1
36	路肩灯	左右各1箇所	1
37	後退灯	LED	1
38	三角表示板	シャシ標準	1
39	キャブ上部D環	8カ所	1
40	バッテリー引き出し装置		1
41	キャブ後部ステップ	ワイドステップ	1
42	空気呼吸器取付装置	後部座席 クイックホルダー	4
43	空気呼吸器取付装置	レスキューシート(超防汚シートカバー付)	1
44	防汚シートカバー	前席(運転席、助手席)・後席(ベンチシート)	1
45	面体フック		3
46	10連スイッチ	大阪サイレン製	1
47	キャブ内灯	前・後	2

取付品及び附属品

NO.	品名	備考	数量
48	キャブ内センターコンソール	詳細別途協議	1
49	可動フック	S字フック	8
50	地図入れボックス	A3サイズ	1
51	フロントピンドルフック	2箇所	1
52	フロントバウシャックル	2箇所	1
53	リアバウシャックル	2箇所	1
54	作業灯	キャブ後部扉上部 MYSW-L600H-W 左右各1個	2
		側面シャッター上部 MYSW-L1160H-W 左右各2個	4
		後面上部 LIA200 左右各1個	2
55	作業灯 天井アオリ部内側	左右各2個	4
56	車両側面展開ステップ	チェーンレス式	6
57	車両側面展開ステップ縁灯	MYSS-L9-Wを埋込取付	6
58	3連梯子昇降装置	佐藤工業所製 SSA-II	1
59	アルミ縞板ボックス	ボディ天井	1
60	ボディ天井支点	D環 耐荷重50kg以上	6
61	大型折畳ステップ	LED内蔵	2
62	回転式棚		1
63	フェンダー内支点	左右2個	1
64	天井側面支点リング	左右各3個	6

別表1【省令別表第1】

一般救助用器具

NO.	品名	備考	数量
1	三連はしご	チタン製三連梯子 MTTL-387(モリタ)	1
2	かぎ付はしご	チタン製一連梯子 MTL-131	1
3	空気式救助マット	レスキュークッションSP16またはMRC16 自立式 専用収納袋付	1
4	救命索発射銃	レスキューショット	1
5	平坦架(バスケット担架)	タイタンTIスプリット	1
6	サバイバースリング	エマルゴテクニカルソリューション社製 P/N: AC01-070-00 Rev C	1
7	救助ロープ	東京製綱製 M打ち(三打ち12mm×200) 白・赤	各1
8	カラビナ	ワン・ツー・スリー KA102W-S	20
9	滑車	伊藤製作所 PL-75W	10

重量物排除用器具

10	油圧ジャッキ	株式会社 オグラ ・ラムRP-R370 ・パワーユニットRP-M18V ・充電器DC-18RF ・予備バッテリーBL1860×5個 ・シルサポート(ラムサポート)L型サポート器具	1
11	油圧スプレッダー	株式会社 オグラ ・スプレッダーRP-S505 ・パワーユニットRP-M18L ・充電器DC-18RF	1
12	可搬式ウインチ	チルホール(TU-16)チルコーポレーション製 20mワイヤー付き	1
13	ワイヤーロープ	径8mm×10m・6m・4m・2m 一式 ステンレス製(アイ付き)	2
14	マンホール救助器具	アリゾナボーテックス 2日間講習費込み	1

切断用器具

15	エンジンカッター	マキタ ・335mm充電式パワーカッタCE001GZ ・パワーソースキット XGT8 ・替え刃 正配列レーザーブレードエンジンカッタ用 355mm	1
16	チェンソー	マキタ ・充電式チェンソー MUC019GZ ・チェンソーバー M400C ・パワーソースキット XGT8	1
17	油圧切断機	株式会社 オグラ ・カッターRP-C160 ・パワーユニットRP-M18V ・充電器DC-18RF	1

破壊用器具

18	万能斧	トップマントビ	1
19	ハンマー	H-72FG(防爆型)	1

呼吸保護具用器具

20	空気呼吸器(調整器)	エア・ウォーター防災株式会社 ライフェムA1-12型 CX製面体付(収納袋付)	5
21	空気ボンベ	エア・ウォーター防災株式会社 カーボン繊維製FRPアルミニウム530CⅢブルネッ カー 最高充てん圧力30Mpa 上部保護カバー付	5

別表1【省令別表第1】

隊員保護用器具

22	墜落制止用器具	ペツル ・アバホボッドファスト サイズ1 ・アブソービカI150 ・カラビナ エーエムデイトライアクトロック M34ATL(各2個)	5
23	耐電手袋	日本特種株式会社 省令別表2参照 7000V対応	2
24	携帯警報器	MSAモーションスカウト キー付き	10

その他の救助器具

25	投光器	マキタ ・充電式タワーライトML814 車載2 予備1 ・バッテリーBL1860B 各2(計6) ・充電器DC18RD 各1(計3)	3
26	携帯投光器	BLACKWOLF ダイバーライト3800WP	3
27	携帯拡声器	ノボル社 レイニーメガホン 消防ホイッスルモデル	2
28	剣先スコップ	オールステンレス	1
29	金てこ	850mm	1
30	とび口	グラスファイバー1.8m	2
31	斧	グラスファイバー	1

別表2【省令別表第2】

重量物排除用器具

NO.	品名	備考	数量
1	マット型空気式ジャッキ	ウェーバー レスキューフラットバック <ul style="list-style-type: none"> ・型式W-FB5/17-12BAR :1枚 ・型式W-FB10/17-12BAR :2枚 ・型式W-FB20/17-12BAR :2枚 ・型式W-FB40/17-12BAR :1枚 ・リデューサー(150/300)10BAR :1個 ・ダブルコントローラー WRP12/2 :1台 ・シャットオフバルブ 12BAR×4個 ・インフレーションホース7.5m 青、赤、黄、緑 :各1(計4本) ・2連結バンド 4個セット:1式 ・保護ゴムマット 350mm:1枚 ・保護ゴムマット 500mm:1枚 	1
2	油圧スプレッター	株式会社 オグラ ・コンビツールBC-300X ・パワーユニットRP-M18V <ul style="list-style-type: none"> ・充電器DC-18RF ・引張りチェーン 	1

切断用器具

3	大型油圧切断機	株式会社 オグラ ・カッターRP-C160 ・パワーユニットRP-M18V <ul style="list-style-type: none"> ・充電器DC-18RF 	1
4	空気切断機	國富株式会社 29.4MPa対応 空気工具300型 専用収納ケース付き	1
5	切断器具	マキタ ・充電式レシプロソー JR002GZ ・替え刃 A-57990 <ul style="list-style-type: none"> ・パワーソースキット XGT8 	1
6	切断器具	マキタ ・充電式チップソーカッター 125mm CS003GZ <ul style="list-style-type: none"> ・替え刃 A-74544 ・パワーソースキット XGT8 	1

隊呼吸保護用器具

7	送排風機	SuperVac ・16インチ:マキタバッテリー仕様(本体・AC電源コードのみ) <ul style="list-style-type: none"> ・マキタバッテリー40V5Ah×3個 ・充電器(バッテリー同時2個充電可能)1セット 	1
---	------	---	---

検知測定用器具

8	耐電衣、ズボン、長靴	NT-YTG-KFD(上下セット) 長靴(27cm)	2
---	------------	-------------------------------	---

その他の救助用器具

9	発電機	ホンダ EU18 i定格出力1.8KVA以上 ガソリンエンジン	1
---	-----	---------------------------------	---

別表3【省令別表第1(地域実情分)】

登山器具一式(山岳救助用器具)

ロープ

NO.	品名	備考	数量
1	スタティックロープ メイン	EDELRID製 セフティスーパーⅡ スノー 11mm 200m	2
2	スタティックロープ バックアップ	EDELRID製 プロスタティック シンクテック ブルー 11mm 200m 38kN	2
3	ザイル救助資機材収納バック	PETZL製 ロープバックダッフル イエロー65L SO45AA00	3

スリング

4	ナイロン・スリング 60cm	EDELWEISS製 ブラック 幅19mm	10
5	ナイロン・スリング 120cm	EDELWEISS製 レッド 幅19mm	10
6	ナイロン・スリング 180cm	EDELWEISS製 オレンジ 幅19mm	10

カラビナ

7	カラビナ オーケー	PETZL製 M33A SL スクリューロック	10
8	カラビナ エーエムディー	PETZL製 M34A SL スクリューロック	6
9	カラビナ ウィリアム	PETZL製 M36A SL スクリューロック	5
10	カラビナ バルカン	PETZL製 M073AA00 スクリューロック	5

プーリー

11	レスキュー	PETZL製 P50A	5
12	ツイン	PETZL製 P65A	4
13	プロトラクション	PETZL製 P51A	2
14	マイクロトラクション	PETZL製 P53	2
15	スピンL1	PETZL製 P001BA	2

ディッセンダー

16	ヒュイット	PETZL製 D02	2
17	アイディ エス	PETZL製 D020AA	3
18	マエストロ	PETZL製 D024AA00	2
19	クラッチ	CNC製 11mm用	2

アッセンダー

20	レスキューセNDER	PETZL製 B50A	4
----	------------	-------------	---

別表3 【省令別表第1(地域実情分)】

21	アサップロック	PETZL製 B071BA00	2
----	---------	-----------------	---

救助用縛帯

22	ピタゴール	PETZL製 C80BR	1
23	エバックハーネス	Emergco Technical Solutions製 デラックスエバックハーネス	1

別表4【省令別表外】

NO.	品名	備考	数量
1	燃料携行缶	金属製 10L×1	1
2	資機材搬送用具	CMC製 リグテックパック	1
3	コードリール	畑屋製作所 DBE-30K	2
4	ガラス飛散防止フィルム	株式会社赤尾 救助用ガラス飛散防止フィルム パッケージスマッシュ	2
5	伸縮コーン	保安道路企画 パックコーン 高さ70m エボルタ単4電池付	5
6	誘導棒	検問合図灯 JAZシリーズJAZ-V60 エボルタ単2電池×4個付き	5
7	車両安定具 救助用ブロック	ステップチョークAセット ロックブロックBセット	1
8	足場台	長谷川工業株式会社 脚部伸縮足場台 DRSW-1000C	1
9	デジタルカメラ	RICOHWG-7 ケース付き	1